ロシア音楽フェスティバル 2019

カンマーザールサロンコンサート

村上弦一郎
ピアノリサイタル

プロコフィエフ：ピアノ ソナタ　イ長調作品 82

◆

ベートーヴェン：ピアノ ソナタ　嬰ハ短調作品 27-2「月光」
ショスタコーヴィチ：プレリュードとフーガ　イ長調作品 87-7
スクリャービン：左手の為のプレリュード　嬰ハ短調とノクターン変二長調作品 9

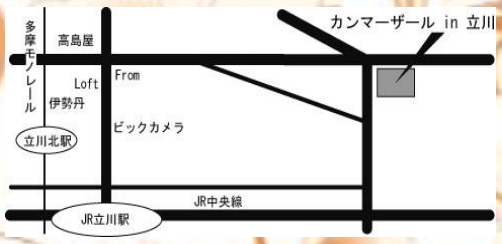
2019 7/13〔土〕18:30 開場　19:00 開演

全自由席　3000円

コーヒー、紅茶、プレゼントつき

※曲目・曲順は変更になる場合もございます

カンマーザール　TEL　042-522-3931



Piano 村上弦一郎　Gen-ichiro Murakami

1971年、第40回NHK毎日音楽コンクール第一位を得、翌年ショパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学国大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。ルーマニア各地のオーケストラとの共演は30回を数える。

各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。1992年8月イタリア・ポジターノにW.ケンプ財団の招待を受け、G.オピッツ氏のベートーヴェン、ソナタ・コンチェルト全曲講座に参加。1995年ポーランド・ワルシャワ水上宮殿にてワルシャワ音楽院教授 J.ヴァイス氏とジョイントコンサート。1996年8月ロンドン、翌年5月ブカレストでリサイタル。1998年ロンドンでサマーセミナー開催。2001年2月ハイデルベルク、8月ロンドンでリサイタルなど、イタリア、スイス、スペイン、イギリス、ドイツ、オーストリアなどヨーロッパ各地で様々な形で演奏およびシンポジウムを続けている。

国内では、日本フィル、東京フィル、東京都響、新日本フィル、大阪フィル、新星日響、札響、アンサンブル金沢 他とソリストとして共演。また、各地でのリサイタルをはじめ、ベルリンクァルテット、クァルテットアマーティ、アルモナクァルテット、エレメンツクァルテット等と室内楽また、デュオでも活動。1987年には、「音物語三夜」と題した自主企画で室内楽、ソロ、コンチェルトの連続演奏会を東京で行った。また、ショパン完全全曲コンサート、ベートーヴェンソナタ全曲コンサートにレギュラーで出演。1994年から「村上弦一郎のピアノの領域」と題した演奏会を東京で企画。新作の発表にも意欲的に取り組んでいる。2005年2月、9月のリサイタル、ベートーヴェン交響曲「田園」「英雄」のトランスクリプションも高い評価を受ける。

2014 年、シューベルティアーデ TOHO で 20 番のソナタ演奏。日ロ協会での 2007 年ショスタコーヴィチ生誕 100 年、2012 年プロコフィエフ生誕 120 周年、2014 年ラフマニノフ記念演奏会、2015 年スクリャビン没後 100 年ピアノソナタ全曲演奏会で企画・演奏で参加。2018 年 4 月には山口県文化功労賞受賞記念リサイタルを岩国市で行う。

2002年9月にGEN室内管弦楽団を結成し、福岡、岩国、翌3月、東京で村上弦一郎と仲間達(GEN CHAMBER ORCHESTRA)と題したベートーヴェンピアノコンチェルトのタベを企画した。その後も岩国での2回の公演を含め10回を超す公演を数え、2004年にはこのオーケストラのために作曲された香月修氏のディベルティメントを初演した。11月には渡欧し、ハイデルベルク大学旧講堂およびAugustium公演で好評を博した。2006年12月には、杉並公会堂で一日に3曲(モーツァルト第17番、ショスタコーヴィチ第1番、香月修氏ディベルティメント)、昼夜公演。11年8月にはデビュー40周年を記念したサントリーホール公演でベートーヴェンピアノ協奏曲第4番、チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番、アンコールに井上鑑編曲:鳥の歌を演奏。

レコード、CDには「井上頼豊“日本のチェロ曲半世紀I・Ⅱ」、「幻の名器タローネの調べVol. 1」、「村上弦一郎のピアノの領域」「ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番、合唱幻想曲(GEN CHANBER ORCHSTRA)・岩国混声合唱団」(アダムエース)、「チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番」(日本コロンビア)がある。

1997年ディヌ・リパッティ国際コンクール審査員(ブカレスト)。2000年4月～2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員(ドイツ)。日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール審査員。桐朋学園大学教授。